



K S K Q かがやき

編集人
社会福祉法人
かがやき神戸を支援する会

<https://kagayaki-kobe.jp>

目次	P1「理事長の新年の挨拶」
	P2「支援する会会長の新年の挨拶」
	P3「『かがやき神戸に出会って』」
	P4・5「2023年新年の抱負」
	P6「法人・支援する会の動き／ 夢ホームへの道Part 3」
	P7「支援する会たより」
	P8「会費を納入頂いた方・お願い・編集後記」

愚直に進んでいきたい

社会福祉法人かがやき神戸 理事長 松原 建二



新年あけましておめでとうございます。
昨年は、かがやき神戸にご支援、ご協力いただき本当にありがとうございました。

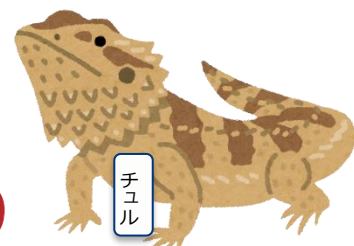
我が家には、フトアゴヒゲトカゲという40cmくらいのトカゲがいます。名前は「チュル」といいます。チュルはとても性格が穏やかで、触ってもいやがらず、抱っこしてもじっとして引っ付いています。たまにお風呂に入れてあげると気持ちよさそうにして、そんな姿に癒されています。私もチュルにならって、今年は穏やかに過ごせる1年になればと願っています。

さて、昨年は新型コロナウイルスに翻弄された年でした。かがやき神戸でも数回にわたりクラスターが発生し、利用者、家族、職員が協力しあい、対応をしてきました。クラスターが発生するたびに、それまで進めていた計画が白紙になることが続きました。世間では行動制限などが緩和されてきましたが、事業所での取り扱いは厳しいままで、世間とのギャップに悩まされています。2022年度の事業計画もなかなか思うように進まず、やきもきすることも多くありました。それでも西区では「Ricoまつり」、北区では「地域ふれあいまつり」を3年ぶりに開催することができました。グループホーム建設では、建設資金を集めるためのクオカード販売や募金活動が始まり、法人内での結束を固めるために「YUME HOMEチャンネル」を開始して定期的な

情報発信をしています。足を止めてしまうと、目的地には絶対にたどり着くことはできませんが、遅くとも一歩ずつ前に進んでいけば、いつかは目的地にたどりつけます。そういう思いで、精いっぱい活動してきた一年でした。

2023年も将来構想実現に向けてコロナに負けず、歩みを止めず愚直に進んでいきたいと思いますので引き続き、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

あけまして
おめでとうございます。
本年もよろしく
お願いいたします



一日も早く平和な社会の到来を願う

かがやき神戸を支援する会会長 池山美代子



かがやき神戸を支援する会の皆さま、新たな年をどのような想いでお迎えのことでしょうか？

コロナという未知のウイルスによって、この三年間不安や恐怖や混乱で翻弄されましたね。昨年秋からは感染者数が減少傾向になって、いろいろな縛りのない生活が戻っていますが、まだ終息の兆しは見えない不安があります。長引くコロナ禍の中で、かがやき神戸でも利用者さんや、職員の皆さんの感染で施設の閉所が何度かあるなど、大変な一年だったと聞いて胸を痛めて来ました。しかし、どのような状況下でも、常に利用者、ご家族の声に耳を傾けてその時その時の状況に合わせて支援をして来られた運営姿勢に心から敬意を表したいと思います。

昨年はロシアのウクライナへの侵略で、世界中が一日も早く戦争が終わり、ウクライナに平和が訪れる事を願う年でした。しかし、現実には国連でさえ機能不全だという

実態に、私たち一人ひとりに何が出来るのかと誰もが憂いているのではないのでしょうか？しかし、日本には憲法があります。永久に戦争放棄を謳っている9条があります。今こそ、9条を守り、誰もが安心して暮らせる平和な社会をつくる草根の運動が何より大切だと確信しています。

かがやき神戸を支援する会の今年度の方針に「平和を考える」があります。私は、昨年の8月4日～6日に広島で行われた「原水爆禁止世界大会in広島」に参加してきました。核のない世界をと誰もが願っています。特に障がい者、高齢者など社会的弱者の方々が安心して暮らせる社会が、誰にとっても安心して暮らせる社会だと思っています。かがやき神戸の理念でもあります。

今年も、皆様と共に「障がい者が安心して暮らせる平和な社会を」と声を上げ、頑張りたいと思います。ご支援よろしくお願いいたします。



かがやき神戸に出会って ～講師の思い～

新しい言葉の感覚！

北区書道講師 **藤田万里子 先生** ふじたまりこ せんせい



かがやき神戸の施設3か所で二か月に一度、2時間の書道活動を行っています。

活動方法は、職員さんに活動前に書きたい言葉を聞き取っていただき、それを手本にし、文字がよくわからない時は一緒に練習して書いています。

仲間たちには、それぞれの特徴や個性を存分に出货してもらいたく、失敗を気にせず、元気に大きく表現していただくよう心がけています。

気分的にあまり好調ではない仲間が、書いていくうちに笑顔になっていく、作品が仕上がったら拍手する、そんな様子を見ると、とてもうれしく思います。

長い間継続して参加して下さる方が多く、文字の上達を実感しますが、逆に、私が皆さんから教えられることがたくさんあります。

最近の例では、ぐりいとのYさんの「あまがえる」、文字が「がまくん」に見えるのです。絵本の世界を見る思いです。

つくしんぼのKさんの「砂浜」はまるで遠近法で描いた絵のように広がりを感じます。ひだまりのAさんの「元気印」やHさんの「オリ姫」からは、新しい言葉の感覚に魅了されます。これらが活動にわくわくしながら取り組む原動力になっています。

私が書道活動を始めたきっかけはつくしんぼ共同作業所を立ち上げたばかりの頃、筑紫が丘遊びの会で松本多仁仁子先生にお声がけいただきました。

しかし、指導のマニュアルもなく、どうしたものか。

朱で添削していく方法はやめようと直感的に思い、仲間となるべく接する機会を作り、それぞれの方が興味をお持ちの言葉を沢山書いて手本にしました。

そのうち、仲間たち自身が伝えたい事がたくさんあるのに気づきました。

共同作業所での仲間会議での出来事でした。

朝の時間に、仲間の中で問題になっている事をみんなで話し合うのですが、その時、会話にも不自由があった一人の女性が「みんな言いたいこと いっぱいあるよね。」と声をふり絞るように発言されたのです。

会話が不自由だったり、表現するのが苦手だから言えないだけで心の中に沢山の思いを抱えておられることを、思い知らされました。

仲間が紙の中から飛び出しそうな文字が書けたり、喜怒哀楽が感じられたり、文字から風景が浮かんだりするのは、そういう思いの強さが自然と表れているのかもしれない。

これからやってみたいことですが、テーマを決めて書くこと。水族館の生き物の名前、挨拶の言葉を書く 読書の会の本の世界を言葉にして 地域の皆さんに見ていただける展示をしてみたいと思っています。

かがやき神戸のHPの「書道活動」に毎回の活動での作品やHAG+展やその他の展覧会での受賞作品を紹介していますので、ご覧ください。

仲間の書道作品
はこちらのQR
コードから見
られます！！



恒例！2023年 新年の抱負 ～西区～

なでしこの里 **阿瀬健太さん**

去年は支援学校を卒業して、4月からなでしこの里に通い始めました。朝礼で作業を決める司会をした時は、利用者がたくさんいて、はじめは大変でした。朝礼の記録をする書記も担当しました。そして色んな作業をしました。紙切り、パッケージ組み立て、封筒の挟み込み、カレンダー背板の穴あけ。一番楽しかったのはカレンダー背板の穴あけです。給料ももらえて嬉しかったです。パフォーマンスを練習するクラウンにも参加しました。その中で「店員さんとお客さん」というテーマが面白かったです。今年も色んな作業をして、クラウンも頑張っていきたいです。

私は、26歳の時に統合失調症になってから約2年半が経ちました。リハビリも兼ねて約2年前からなないろで週1回、午後から1時間半程度働いています。主にバリ取りというゴム製品の余分を取り除く仕事をしたり、たまに犬のクッキー、ジャーキーを作ったり、畑仕事や刺し子（布に糸で模様を描いていく）など、様々な仕事をさせてもらっています。作業をしながら職員さんやメンバーさんと話したり、刺し子に時間を忘れるくらい集中したりするのが楽しいです。これからも焦らず、自分のペースでこの仕事を続けていきたいです。また、去年は生活リズムが乱れ、1日中寝ている事が多く、週の半分は寝ている始末で、できる事が少なくなってしまったので、今年はちゃんと毎日起きて出来る事を増やしたいです。一番は体調に気を付けて、肉体的にも精神的にも健康的に過ごせるようにしたいです。充実した一年になりますように！！

なないろ **安東友香さん**ミニなでしこ **小倉清美**

(写真右側)

あけましておめでとうございます。
去年4月に入職いたしました小倉清美と申します。
昨年を振り返ると、ドキドキとワクワクで、先ずは「仕事を覚え、慣れる」ということで精一杯の1年であったと思います。今年は、もう一歩踏み込んで、仕事にも慣れてきたので「利用者さんの声（思い）に寄り添い、利用者さんに小倉さんと話ができてよかった」と思っていたけような職員になれるようにがんばりたいと思います。

～北区～

ぐりいとではみなさんのサポートで快適に過ごさせていただいています。去年は入院して全身麻酔で親知らずを2本抜きました。大変な手術だったと思いますがよく頑張ってくれました。自分から不調を訴えることができないので周りが体調管理をしっかりしないといけません。今年も毎朝の体温、体重計測と、朝のバス停までのウォーキング、帰宅後の散歩は欠かさず続けるようにします。休みの日は電車、バスで出かけてコロナ明けの街中をあちこち楽しく歩き回りたいです。今年もよろしくお願いします



ぐりいと 高原みゆきさん
高原隆佑さん

ポーズを
お願い
します



了解！



つくしんぼ 原山つぐみさん

普段は、つくしんぼのひまわり班で下請作業や自主製品作りをしています。明るく元気な性格で、仲間とにぎやかに過ごすことが大好きです。歌うことや絵を描くことが得意で、絵画教室では両手を使って、画用紙いっぱい絵を描いています。好きなことは他にもたくさんあります。食べること、特にスイーツが大好き！来年はどんな年になるかな。旅行に行けるといいな。

(本人へのインタビューと職員からの他己紹介)

かがやき神戸で働きはじめて、あっという間に11年。4歳だった娘も春からは高校生に。反抗期真っただ中で言い合いになることもしばしば。娘の成長を感じる毎日ですが、やっぱり腹もたつ(笑)。そんな中でも仕事へ行くと、ダジャレを言って笑わせてくれる仲間。ものまねをして笑わせてくれる仲間。「楽しい！ありがとう！」と毎日元気な仲間。そんな賑やかで楽しい仲間達と過ごすとなんか笑って元気を貰います！2023年もコロナに負けず、仲間と一緒に笑顔で過ごしていきたいです。



多機能型つくしんぼ職員
(喫茶くろーばぁ担当)
住野佳世子

法人・支援する会のうごき 2022年9月～11月

9月上旬 クラスタ発生

北区の事業所内でクラスタが発生しました。保健所からの指導で事業所を閉所しました。

9月17日 Ricoまつり

ミニなでしこで「Ricoまつり」を開催しました。楽器の演奏をしたり、ゲームや販売を行い、地域の方々に多く参加していただきました。

10月1日・2日

きょうされん全国大会in陸前高田

約20名できょうされん全国大会に参加しました。大会までの途中で松島や震災の爪痕である奇跡の1本松なども見学しました。

10月22日 理事会

第1号議案

2022年度一次補正予算について

第2号議案 将来構想の進捗について

理事長・常務理事の活動報告について

11月9日 評議員会

第1号議案

2022年度一次補正予算について

11月12日

第26回地域ふれあいまつり

広陵小学校にて地域ふれあいまつりを行いました。飲食店はありませんでしたが多くの人にお越しいただきました。

夢ホームプロジェクト Part 3

皆さん、こんにちは。Part3となる『夢ホームへの道』ですが、今回は、新たな取り組みを紹介させていただきます。その名も『YUME HOMEチャンネル』。これは、かがやき神戸で活動する仲間・職員に向けてZOOMを通じて情報発信をする場としてスタートさせました。記念すべき第1回目の『YUME HOMEチャンネル』では、ご存じの方もおられるかと思いますが、ホーム建設の資金集めの一環で取り組んでいるQUOカードの紹介をさせていただきました。そ

のデザインは仲間が描いた絵画から選んだもので、大変素敵なクオカードになっています。今回は、提供していただいたその絵に込めた思いや考えを作者の皆さんに発表していただきました。今回、YUME HOMEチャンネルに出演していただいたみなさん、本当にありがとうございました。

※クオカードご購入希望の方は、かがやき神戸までご連絡ください。



支援する会たより

～かがやきウォーキング（明石海辺の道）報告～

11月6日（日）、雲一つない秋晴れの下「明石の海辺の道ウォーク」を行いました。メンバー、家族、職員合わせて20名が参加しました。ボランティアガイドさん2名の案内で、午前10時駅を出発、まずは魚の棚へ。コロナ禍が少し落ち着き他のイベントもあって人出が多かったです。明石銀座の南の浜光明寺は由緒あるお寺、昔の海岸沿いは松と白浜で美しかった、珍しいラジオ塔は県内に2つ残っているだけといったガイドさんの説明を聞きながら歩きました。明石市役所前ではあの市長の話題も。メインポイントの海沿いコースからは青空に映え

る淡路島、明石海峡大橋がきれいに眺め渡せました。

休憩した後、別コースで引き返しました。中崎公会堂は趣きのある木造建物。明治44年の開所式には夏目漱石が講演したとか。その北の子午線通過地標識と子午線交番、西に進んで平忠度(ただのり)塚も見学しました。ガイドさんの案内で、明石の風景や歴史が楽しく学べた約4キロの2時間ウォークでした。（平尾一幸）



ウォーキングに参加して、明石海峡大橋を見たこととお寺に行ったことが、とても楽しかったです！！



千住友和さん 後藤茂樹さん



**支援する会に会費を
納入いただいた方**

(2022年6月21日～8月31日までに
更新／入会された方 順不同・敬称略)

小野康子 佃隆子 榊山登志子 澁谷浩子
井高朱美 内野たまき 佐々木妙 東田真弓
土谷龍一朗 政田順子 松浦歌子 吉崎智裕
光岡留美子 岡田哲典 上地香織 上地貴正
石貞三太郎 繁田桂子 繁田裕之 武内翔太
高田喜代美 前田かおり 保田富子 菅治美
菅政恒 尾浦多恵子 大久保直弥 小見山純
山本喜代己 山本隆一 大庭絵里 中村千世
こやまクリニック 代表 小山治 越智美帆子
兵庫農民運動連合会 株式会社フォーユー
団佳代 団延幸 堤年子 井上麻子 神尾忠
神田陽子 清田恵子 高橋勝善 山本珠津子
持田望 安井琢磨レイ 渡邊清美 奥野好隆
楠本智士 楠本美紀 株式会社大生産業
瀬戸昭 寺本裕二 蜂谷紀之 藤田万里子
松岡邦子 松岡哲司 長谷川洋子 岩本幸子
宮内鏡 森本三枝子 織田仁子 山本さち子
山本一 福田郁子 松田崇介 中村志津子
富沢美幸 泰田励 中田八重子 山本伸悟
山本みどり 西山恵子 和田安弘 藤岡篤司
押田忠明 高原一典 高原みゆき 野嶋納美
野嶋美佐子 福島正人 正津房子 高畑晴子
神田ふさ子 緑史園 氏原健史 小田真美
中村恭子 溝田聖史

ご協力ありがとうございます

(すでに更新された方で、お名前の載っていない方は次回掲載させていただきます)

2023年1月号 (No.97)

編集人：(社福)かがやき神戸を支援する会
定価：1部50円

事務局：神戸市北区山田町下谷上字西丸山
20-30 (かがやき神戸北事務所)

TEL：078-582-5544

FAX：078-582-5526

発行人：関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2
東興ビル4F

**☆会費納入のお願い☆**

●社会福祉法人かがやき神戸を支援する会
の2022年度会費(2022年4月～2023年3月)
納入をお願いいたします。

**★ かがやき神戸を支援する会
2022年 年度会費 1000円★**

会費振込先(郵便振替)口座記号口座番号：
00930-1-67354

加入者名：社会福祉法人かがやき神戸を
支援する会

かがやき神戸

検索



かがやき神戸のホームページも
ご覧ください!!

【編集後記】

新年あけましておめでとうございます。
さて、私は車通勤をしています。入職
時に購入したガソリン車が16年を経過し、
走行距離も24万キロに迫ろうとしていま
す。昨今の自動車は「自動ブレーキ機
能」や「車線逸脱警報システム」等、安
全に配慮した機能が開発されています。
それは事故防止には良いことだと思いま
す。しかし私は、シンプルで電子制御が
少ないガソリン車が好きなので、今後の
買い替えの選択肢がかなり狭まっていま
す。環境問題の面からもガソリン車への
風当たりは強くなっています。今年ほど
んな車に乗っているのか、思い悩む年にな
りそうです。

それでは、本年も法人の歩みに寄り
添った紙面を心がけていきますので、ど
うぞよろしくお願い申し上げます。

(高橋)